

- 第2回まごころ職員大賞が決定
- とうつえん いたん 橈骨遠位端骨折に対する新しい整復法
- 病院再開発の進捗状況について
- ボランティア活動者会議を開催
- 病院ホームページをリニューアル!

第2回「まごころ職員大賞」の受賞者が決定しました



「まごころ職員大賞」とは、職員の患者サービス・接遇意識の向上を啓発することを目的に、患者さんやご家族の方々から「対応が良かった」等とご推薦をいただいた職員を表彰する制度で、平成19年度より実施しています。

第2回は、平成20年4月1日から12月26日までの期間実施いたしました。ご推薦をいただいた職員は数十人にも及びましたが、その中から、第2回「まごころ職員大賞」の受賞者を、次の職員に決定しました。



受賞者

- 糸井さん（ペインクリニック科 受付）
- 居川さん（ペインクリニック科 看護師）
- 福井先生（ペインクリニック科 医師）



受賞式では、柏木病院長から表彰状と記念品が贈られ、ねぎらいの言葉がかけられました。

第3回まごころ職員大賞の推薦を受け付けています

場所：病院玄関を入れて正面の記入台
期間：平成21年12月28日まで
方法：備え付けの推薦用紙に職員名、勤務場所、推薦の理由を記入して投票してください。



引き続き推薦にご協力を
よろしくお願いします。

まごころ職員大賞
～あの人、良かった!～
と思われる職員をご推薦
ください。

職員の接遇意識の向上と
患者サービスの向上を目的として
『まごころ職員大賞』を設け、
表彰しております。

● まごころがある対応を行っている、
印象が良かったと思われる職員を
推薦（記名）していただき、御投票く
ださい。 推薦期間平成21年4月1日～12月28日

＜推薦用紙・投票箱＞病院玄関フロア壁面に設置中

滋賀医科大学医学部附属病院 患者サービス課

とうこつえん い たん

橈骨遠位端骨折に対する新しい整復法

整形外科学講座 助教 児玉 成人

橈骨遠位端骨折とは…

橈骨遠位端骨折は転倒して手首に強い外力が加わったときに起こる骨折です。転位のない(手首の変形のない)軽度の骨折、いわゆる“ヒビ”でも、手首は短時間に腫れてきます。転位のある骨折では外観上、手首のフォーク状変形(フォークを伏せておいたような形)も出現します。特に中年以降(閉経後)の女性で骨粗鬆症を合併すると、比較的軽微な外力でも骨折することが多いです。



従来の治療方法

まずギプス固定を行います。変形を有する骨折では変形を残したままギプス固定をすると、後に機能障害を残すことが多いため、変形をできる限り、元に戻しギプス固定を行います。

ずれた骨折部をできるだけ元の状態に戻すことを、“整復”といいます。整復法は通常レントゲン透視を行い、骨折部を牽引・整復して、骨折部の状態を確認し、ギプス固定を行います。しかし、この方法では、レントゲン装置とそれに伴う技師が必要であり、簡便さに欠けます。また被曝の問題もあります。

超音波を用いた新しい整復法

そこで、それらの欠点を補う方法として超音波(エコー)に着目しました。超音波検査は非常に簡便な検査法であり、整形外科領域でも近年着目されています。その最大の利点は、その場ですぐに使用できるという簡便性です。また、被曝の心配もありません。しかし、この方法はまだまだ普及していないのが現状です。

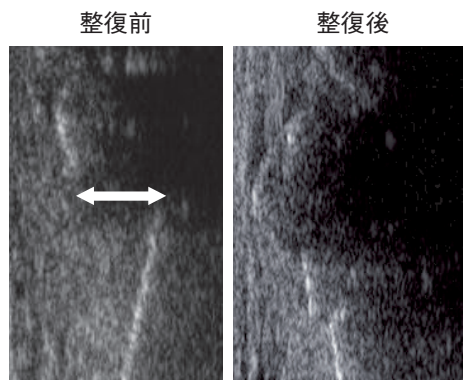
本院では、現在、特殊な牽引装置を用いた整復、あるいは機械などを使わずに手で行う整復(徒手整復)の時に、骨折部の状態を超音波検査にて確認し、ギプス固定を行っています。



特殊な装置を用いた整復



徒手整復



超音波(エコー)による整復状態の確認

病院再開発の進捗状況について

病院再開発推進室 室長補佐 小林 哲郎

♣ A病棟の改修及び移転が完了しました

平成20年10月より改修工事を行っていましたA病棟が竣工し、平成21年5月16日(土)には、小児科（5 B病棟→5 A病棟）、母子・女性診療科（6 B病棟→6 A病棟）の移転が完了しました。

5 A病棟は、小児病棟としてNICU（新生児特定集中治療室）9床、GCU（新生児回復室）6床と増床を図り、最先端設備を導入し、安全管理、感染対策、セキュリティ面で十分に配慮された施設に生まれ変わりました。

6 A病棟は、女性病棟として、患者アメニティーを飛躍的に改善しました。陣痛室、分娩室、LDRルーム（1つの部屋で陣痛、分娩、回復を一貫して行うことができる特別室）などが整備され、安全かつ快適にお産していただける環境となっています。



♥小児科アート計画

小児科病棟（5 A病棟）内の廊下は、天井・床・壁面に様々なイメージ（絵）が描かれています。入院を余儀なくされた子供さんにとって、そこに広がるイメージ（絵）に誰もが入っていける「緩さ」を持った空間となっているので、親子の会話がまた一段と広がることと思います。



子供の落書きのような
自由で暖かなイメージ(絵)

愛犬ジョンです



◆新手術棟の新営工事が本格的に始まりました

新手術棟1階には材料部、2階には手術部などの居室部分、3階には手術室が6室入る予定です。

最新設備を導入した手術室を整備し、各種手術に対応できる環境整備を進めています。オープンは、平成21年12月を予定しています。

ボランティア活動者会議を開催しました

病院管理課 病院企画係

平成21年3月12日(休)、本院で活動いただいているボランティアさんをお迎えし、ボランティア活動者会議を開催しました。

はじめに柏木病院長から日頃の活動に対する感謝の言葉が述べられ、引き続き、活動を通じて感じたことや要望などについて意見交換を行いました。また、多大な功労をいただいた方々に感謝状を贈呈しました。



患者さんの案内、補助をしてくださる方を募集しています！

- 外来ボランティア：患者さんの案内、再来受付機の補助、車椅子の方のお手伝いなど
8時30分～11時00分の間でご相談に応じます
- 図書ボランティア：院内図書室での図書の貸出、受取、整理など
11時30分～13時30分

【申込み・問い合わせ】 滋賀医科大学病院管理課 TEL. 077-548-2463

病院ホームページをリニューアル！

患者さんにとって、より見やすく、より使いやすいホームページとなるよう、平成21年3月に病院ホームページを全面リニューアルしました。

- ❖各コンテンツが選びやすいよう、メニュー配置を工夫！
- ❖受付～ご帰宅までの流れをよりわかりやすく掲載！



盛りだくさんの情報を掲載しています。
是非ご覧下さい。



URL : <http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/>

滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第23号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会
〒520-2192 大津市瀬田月輪町
TEL: 077(548)2012(企画調整室)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

●理念を実現するための 基本方針

- 患者さん本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します